

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町 1 番 10 号 住友精密工業 (株) 本社内
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

平成 30 年度 (第 11 回) 西日本支部総会開催

平成 30 年度 (第 11 回) 西日本支部総会が、10 月 11 日 (木) 15:30~16:10 までの間、兵庫県尼崎市の「都ホテルニューアルカイク」3F の「鳳凰の間」で開催されました。当日は、宮内西日本支部長兼副会長及び支部会員の皆様方や本部から石川会長を初め、副会長、監事、理事の皆様方に加え近畿経済産業局製造産業課小橋厚司課長殿を初めとするご来賓及び関連団体関係者等総勢 48 名の皆様方が出席されました。

支部総会は宮内副会長兼西日本支部長の挨拶で始まり、以下の議事次第により議事が進行し 16:10 に無事終了しました。



挨拶をする前宮内西日本支部長

なお、今回は支部総会の前に、住友精密工業 (株) のアレンジで大阪市、八尾市、松原市の環境施設

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 10 回西日本支部総会開催	1	広報・PR 事業	8
委員会開催・活動状況		中小企業関連事業	8
標準化事業/ISO 対策事業	5	会員ニュース	11
標準化事業/規格事業	5	今後の主要行事予定	11
技術調査事業	6	統計資料	14

(一社) 日本フルードパワー工業会
URL : <http://www.jfpa.biz/>

組合の舞洲工場の見学会を行いました。

第 11 回西日本支部総会議事次第

1. 開 会
2. 前支部長挨拶 宮内前西日本支部長兼副会長
3. 御来賓紹介
4. 会長挨拶 石川会長
5. 御来賓祝辞 小橋厚司近畿経済産業局製造産業課長
6. 本部報告 藤原専務理事
7. 支部報告 大朝甲南電機㈱企画部長
8. 新事務長紹介
9. 新西日本支部長挨拶
10. 閉 会

定刻に支部事務局より支部総会の開催挨拶があり、宮内前宮内支部長より以下の挨拶がありました。

「本日はお忙しい中、西日本支部総会にご出席賜りましてありがとうございます。2年前にダイキン工業さんから西日本支部長を引き継ぎまして、本日ももちまして無事に住友精密工業株式会社さんにバトンを渡すことができます。これもひとえに、支部会員の皆様方、そして関係者の方々からの格別のご支援をいただいた賜物と大変感謝しております。

少し記憶をたどりますと、最初に総会前の見学会をどこにしようかと考えたのですが、西宮の商工会議所のお世話もしていますので、西宮の紹介を試みようということで地場の「ワンカップ大関」で有名な大関さまを見学といたしましたところ、思いのほか好評でしたので、翌年も引き続きまして、「白鹿」ブランドの辰馬本家酒造さま見学をさせていただきました。2年連続で神戸西宮地区の宝である酒造りの現場を見ていただきました。いかがでしたか？

さて関西ですが、今年は日本全体色々なところで災害があり、6月に大阪北部地震、7月には西日本豪雨、そして記憶に新しいと思いますが、9月に台風21号による大規模停電や関西国際空港閉鎖など市民生活、あるいは産業活動共に大変苦勞いたしました。多くの方々のご支援によりまして、世界で注目されるほどのスピードで回復してきております。しかし、タンカーが強風に煽られて漂流し関西国際空港連絡橋に衝突、橋桁が大きくずれるなど損傷して空港が全面閉鎖、孤立状態となるなど誰も予測できなかったかと思うのです。予想もしないことは、我々産業界にも起こっております。思い起こせば、10年前のリーマンショック。アメリカの投資銀行が破綻して、日本があれだけの悪影響を受けるとは当初は誰も思っていませんでした。今の米中貿易戦

争もどうなるのかわかりませんが、場合によっては日本の経済もマイナス成長になるのではないかと言われておりますけれども、やはり実業を行っている我々は、想定外という言葉を出さないよう、常日頃から周りを注視して対応を考えておかないといけないと思っている次第です。

最後になりますが、西日本支部の活動に技能検定に係る事業があります。これには、タイヨーさん、ダイキン工業さんにも色々お世話になっておりますが、本部の方でも、技能検定対策講座や初級油圧講座を始めると聞いております。この辺を本部と協力してやっていければいいなと思っており、新支部長さんにも是非お願いしたいところであります。

本日の本支部総会にご参集・ご臨席をいただきました学会の先生方はじめ、関係機関の皆様方の益々ご健勝とご活躍、そして会員各社様のご発展をお祈りし簡単ではありますが、私の支部長退任の挨拶とさせていただきます。本当に2年間ありがとうございます。」

その後、事務局から来賓の紹介があり、石川会長より以下の挨拶がありました。

皆さんこんにちは。只今ご紹介いただきました、会長の石川でございます。本日はご多用中の中ご来賓の方々をはじめ、大勢の会員各社様にご臨席を賜りまして、心より御礼を申し上げます。そして、先ほど西日本支部長の宮内様からご挨拶がございましたが、宮内様在任中にフルードパワー工業会に多大な貢献をされたことに対しまして、心より御礼申し上げます。この後、宮内会長に引き続きまして、田岡新支部長がこの役をお受けくださるということで、これも工業会全体として感謝申し上げます。

さて、私の挨拶といたしまして、皆さんの懸案事項のひとつであるところの、日中の貿易戦争というものに関しまして、少しお話させていただければなと思います。足元は堅調な中でも、先行きがどうなるのかということで、最も関心が高いことのひとつであります。勿論これは、ドナルドトランプという異色のアメリカ大統領が就任し、その引き金を引いたことは間違いないわけですが、少し長い文脈に沿って考えてみますと、ある種歴史的な必然の部分もあるのかなと感じております。トランプが大統領に就任する前のオバマ大統領の8年間を思い返せば、「グローバルイゼーション」とか「世界はますますフラット化する」、「世界は単一市場になる」などの言葉がマスコミをにぎわし、最終的姿として、経済の国境がなくなりボーダレスになり世界中のものが自由に行き来する社会になるということが、あたかも必然

のように思いながら、グローバルな戦略を打ち、時には工場を海外に移すというようなことを、企業の大小に関わらず進めてきたのではないかと思います。しかし、ここに来て、2大経済大国が関税をかけあうといった、これまでとは全く違う動きになっています。これはあたかも時計の針を逆回転させているように思えますが、私は必ずしも時計の針が逆に回っているとは思っておりません。オバマ大統領の8年間で、中国は大変な経済成長を遂げ、GDPでも日本をあっという間に追い越し、世界のビック2ともいえる経済大国になり、経済ばかりでなく政治的にもその勢力を世界に広げようとする動きがどんどん強まったわけです。つまり、オバマ時代とは明らかに違うのは、米国が中国を明らかにライバル視し、世界の覇権争いが始まっていると見えます。そうしますと、過去起こった経済ブロック化とはまた違った現象がこれから始まるのではないかと考えております。そういった中で、日本の立ち位置をどうするのかといった部分もあると思いますし、会員各社さんの置かれている状況の中で、グローバルな戦略をどう組み立てられるのかという部分についても、こういった非常に基礎的な部分に変化が起こっていることを考えながらやっていくことが必要ではないかと考えております。

一方、足元では、フルードパワー工業会の数字は、大変堅調に推移をしております。昨年1年間は、油空圧分野は大変大きな伸びを記録し良い1年でありました。今年度も約半分を過ぎたところですが、一部に米中貿易戦争の影響が見え始めているところもあるやに伺っておりますが、まずまず堅調に推移していると思います。是非この状況を維持しながら、一方でこれから起こるであろう大きな変化に向けた準備を粛々と進めていくことが、我々に求められていることではないでしょうか。

ここで、私ども工業会の活動の一つをご紹介します。手前味噌にはなりますが、年初に申し上げました3本柱の一つに、若手技術者の育成というのがあります。工業会では昨年からは、油圧技能士の国家試験対策講座を始めました。今年は、それに加えて、油圧の初心者向けコースを開設しようということで動いております。事務局によりますと出足はまずまず好調ということで、是非こういったものに皆様方参加いただき、日本のフルードパワー工業会の底上げといったことにも、ご協力いただければと思います。

最後になりましたが、本日、ご臨席を賜りました

経済産業省、学会等からの来賓の方々、そして会社の皆様のご発展とご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。」



挨拶をする石川会長

次に来賓を代表して近畿経済産業局小橋厚司製造産業課長よりご挨拶をいただきました。

つづいて、本部報告・支部報告を行った後に支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め了承され、その後新事務長紹介と田岡新西日本支部長のご挨拶があり、定刻に無事終了いたしました。

新西日本支部長のご挨拶は、以下の通り。

「皆様、本日はご多忙の中、支部総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。西日本支部長を拝命いたしました住友精密工業の田岡でございます。

今回は、直前に見学場所を変えさせていただいたにも関わらず、大阪市、八尾市、松原市の環境施設組合の舞洲工場見学会に多数ご参加いただきまして、大変ありがとうございました。前回は、前支部長の采配で見学会は大変盛り上がったと伺っておりましたので、それに匹敵するぐらいの見学会にしなければと思っておりましたが、急遽会場を変えることとなり、大変ご心配かけました。来年も知恵を絞って皆様方に喜ばれるような見学会にしたいと思っております。

さて、前支部長のご挨拶にもありましたが、この関西地方、今年は色々な自然災害に見舞われました。大なり小なり影響を受けた会社さんもあったと思いますが、復旧が順調に進んでいるようお見舞い申し上げます。

石川会長のお言葉にもありましたが、我々の一番

気になることは、中国とアメリカの貿易戦争でありまして、お互いの関税のかけあいというのが、どこまで進んでいくのか、留まることを知らない状況で心配している状況です。そのような中、来月東京ビッグサイトで、JIMTOF2018 が開催されます。事務局からの案内を見ておりますと、出店者数が 1085 社ということで過去最大ということ。従来に増しての盛り上がりとなるのではないかと期待しているところであります。また、最近新聞紙上色々な話題が出ておりまして、例えば「自動運転の車」ができるとか、「空飛ぶ車」ができるとか、ちょっと昔の SF 物語のようです。これらの将来の新しい製品のものづくりにも、我々のフルードパワーの技術が活用され、私共が良い製品を出して貢献していければと思っております。

最後になりますが、本日の支部総会にご参集いただきました関係各社、各機関の皆様方の益々のご健勝とご活躍を、そして会員各社様の益々のご発展を祈念致しまして、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。」

第 84 回理事会

支部総会終了後 16:20 から同じ会場で第 84 回理事会を開催しました。理事会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。初めに事務局から本理事会への理事の出席状況について報告が行われ本理事会が有効に成立している旨説明しました。石川会長の議事進行により審議に入りました。議長は来賓として出席していた経済産業省製造産業局産業機械課の玉井産業機械課長に挨拶を要請し、同氏から挨拶を兼ねて平成 31 年度の経済産業省関係概算要求のポイント、米国の通商政策、中国における第四次産業革命の動向について説明がありました。



ご挨拶をされる玉井課長

次に議長は、議事録署名人として代表理事及び監

事 2 名を指名し、議事次第に基づき議事の審議に入り、提案議案は全て承認されました。

第 1 号議案

平成 30 年度収支予算書見直しの件

(株)野村総合研究所からの「平成 30 年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費」に関する委託費決定に伴う件、受託金額が 6,999,577 円にて決定したこと。あわせて(一財)日本規格協会から受託を受けている「JIS 原案作成事業(4 月)受託金額 320,000 円の計上ミスがあり、本理事会で予算の見直しに関して承認をお願いしたい旨説明を行った。議長は、本件を議場に諮り、審議の結果異議なく承認されました。

第 2 号議案

次回 IFPEX の開催の件

2020 年の東京オリンピックの開催に伴い、東京ビッグサイトは長期にわたりメディア関係の施設として利用が予定されていることにより、2020 年に IFPEX を開催することは困難となったため、2021 年秋で計画することを報告した

その他の議案

資料により今後の予定スケジュール、油圧基礎講座(初級)の開催等について説明した。以上で審議を終え 16:50 に無事終了した。

その後、17:00 より同じフロアの「鳳凰の間」で、支部会員及び関係機関の方々と出席理事を交えた合同懇親会を開催しました。はじめに田岡西日本支部長が開会の挨拶と乾杯を行い、参加者一同懇親を深めました。その後、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会田岡新支部長挨拶



合同懇親会会場

なお、翌日、支部長会社である住友精密（株）さんのアレンジで、「西宮カントリー倶楽部」で「第30年度西日本支部懇親ゴルフ会」を開催しました。ゴルフ日和の中、14名の参加者は、日頃の精進の成果を期待しプレーを行いました。成績は以下の通りです。

- 優勝 高来 悟（川崎重工業（株）理事）
- 2位 佐竹 和彦（アクト電機工業（株）取締役会長）
- 3位 土谷 昌史（中西商事（株）取締役 常務執行役員）

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業／ISO 対策事業  
~~~~~

* ISO の動き
ISO/TC131 フランクフルト、TC131/SC6 新郷国際会議
10月15日から19日までISO/TC131 国際会議がドイツ・フランクフルトにて、また、10月23日から25日までISO/TC131/SC6 国際会議が中国・新郷にて開催された。
会議は、フランクフルトではSC7/WG3、SC7/WG4、SC7、SC4/WG1、SC4/WG2、SC4/WG4、SC4/WG6、SC4、SC3/WG1の各分科会が、新郷ではSC6/WG1、SC6/WG1、SC6/WG2、SC6/WG3、SC6の各分科会が開催された。

日本からは、フランクフルトには高牟礼 SC7 議長（JFPA）、中尾委員（NOK）、佐藤委員（NOK）、吉田委員（キーパー）、岩崎委員（イハラサイエンス）、横岡委員（ブリヂストン）、吉田委員（CKD）及び大野アドバイザー（JFPA）の8名が、新郷には難波委員（日本ポール）が参加した。

会議の詳細については、後日、報告書を作成・発行します。



会議場となったドイツ機械工業会 (VDMA)

発行された ISO 規格
(TC131)

- ISO 6099:2018 : Fluid power systems and components -- Cylinders -- Identification code for mounting dimensions and mounting types
- ISO 8434-1:2018 : Metallic tube connections for fluid power and general use -- Part 1: 24° cone connectors
- ISO/TS 17165-2:2018 : Hydraulic fluid power -- Hose assemblies -- Part 2: Practices for hydraulic hose assemblies
- ISO 2942:2018 : Hydraulic fluid power -- Filter elements -- Verification of fabrication integrity and determination of the first bubble point

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)
(TC131)

- ISO/FDIS 6150 : Pneumatic fluid power -- Cylindrical quick-action couplings for maximum working pressures of 1 MPa, 1,6 Mpa, and 2,5 MPa (10 bar, 16 bar and 25 bar) -- Plug connecting dimensions, specifications, application guidelines and testing
- ISO 3601-1:2012/DAmD 1 : Fluid power systems -- O-rings -- Part 1: Inside diameters, cross-sections, tolerances and designation codes -- Amendment 1

~~~~~  
標準化事業／規格事業  
~~~~~

JIS 原案作成本委員会

日 時 10月5日(金) 13:00～16:00
場 所 機械振興会館 6-64 会議室
出席者 北川委員長以下7名
事務局 前畑
議 事

北川委員長(東京工業大学名誉教授)開会挨拶、委員自己紹介の後、「JIS B 8366-3:油圧・空気圧システム及び機器—シリンダー構成要素及び識別記号—第3部:標準ピストンストローク」及び「JIS B 8366-4:油圧・空気圧システム及び機器—シリンダー構成要素及び識別記号—第4部:ピストンロッド先端形状及び寸法」のJIS原案の審議を行った。審議の結果、技術的に問題となる事項は特になく、各委員からの指摘事項について修正した後、日本規格協会へ提出することとした。

油圧システム分科会

日 時 10月2日(火) 13:00～16:00
場 所 機械振興会館 6-63 会議室
出席者 町田主査以下6名
事務局 前畑
議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 0125-1(油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第1部:図記号)の改正について審議した。対応ISO規格とJISを比較しながら、変更該当箇所の修正作業を行った。

次回開催:12月5日(水) 機械振興会館

油圧ポンプ・モータ分科会

日 時 10月4日(木) 13:00～16:00
場 所 機械振興会館 6-64 会議室
出席者 加藤主査以下8名
事務局 前畑
議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、ISO 投票結果の報告があった。定期見直しのISO/SR 3019-1及びISO/SR 3019-2については、改訂の必要性はないため Confirm で投票した。ISO 9110-1、ISO 9110-2のDIS改正案は、特に問題なく Approve で投票した。

次いで、来年度のJIS見直しについて審議した。対象となっているJIS B 8349-2(圧力脈動レベルの測定方法—第2部:ポンプにおける簡易測定方法)、JIS B 8383(ポンプ及びモーター押しのけ容積)、JIS

B 8385(ポンプ・モータ及び一体形トランスミッション—パラメータの定義及び文字記号)の3件について検討し、JIS B 8349-2の誤記訂正を提出することとした。

次回開催:別途調整

空気圧システム分科会

日 時 10月9日(火) 13:00～16:00
場 所 機械振興会館 6-63 会議室
出席者 増尾主査以下6名
事務局 前畑
議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 0125-1(油圧・空気圧システム及び機器—図記号及び回路図—第1部:図記号)の改正について討議した。各委員から担当分に関して検討結果を説明し、改正必要項目の内容を審議した。

次回開催:12月14日(金) 機械振興会館

空気圧バルブ分科会

日 時 10月25日(木) 13:00～16:00
場 所 機械振興会館 6-63 会議室
出席者 大島主査以下3名
事務局 前畑
議 事

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、JIS B 8376(空気圧用速度制御弁)が発行されたため、確認を行った。

次いで、JIS B 8672-2(空気圧—試験による機器の信頼性評価—第2部:方向制御弁)に関して、各委員の担当部分について、対応国際規格(ISO 19973-2)と対比しながら修正内容を審議した。

次回開催:12月20日(木) 機械振興会館

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会

日 時 10月12日(金) 13:30～19:00
場 所 機械振興会館 B3-1 会議室
出席者 伊藤和巳部会長以下11名
講 師 福村 徹(テクノライフコム代表)
事務局 大橋
議 事

伊藤部会長の開会挨拶の後、直ちに第1部の講演

に入った。元コマツ KOMTRAX サポートセンター長であり現在テクノライフコム代表の福村徹氏による講演は、「IoT とサービタイゼーション ～KOMTRAX に携わって～」の演題で行われた。



講演中の福村講師

「サービタイゼーション」とは、Service と Innovation の結合であり、製造業において、従来の生産した製品を販売することで稼ぐことから、製品をサービスとして提供することによって稼ぐ新時代のビジネスモデルへの潮流を示している。講演は、KOMTRAX の内容というよりも、それがどのようにして生まれ、どのように市場導入し、定着させていったかの道のりの説明、何が変わるのか、変わったのかに主体がおかれていた。

市場環境や市場要求が変化してきていることの説明に始まり、定着までの間の課題事項や障害例、社内の説得、市場での評価例なども含めて分かりやすく解説していただけた。

特に、IoT システムの導入のみによってどれだけの投資回収ができるのかという見方よりも、仕事の仕方が変わり、品質目標がQCDから顧客の満足度に変わっていく「ビジネス革新」という視点が重要であることを力説され、若手の参加者も大いに刺激を受けたことと思われる。

第2部は、伊藤部会長の自己紹介、業務体験、若手技術者に送る持論などの講和があり、続いて若手10名による作文発表に移った。ほとんどの参加者が業務を通して得られた自己の経験談の紹介であり、1人当たり約10分の持ち時間を超え、活発に質問や意見交換が行われた。



技術懇談会終了直後の集合写真

第3部の懇親会では、名刺交換に始まり、着席してのどを潤しながらの会話が弾んでいた。発表作文の延長線上の話題をはじめ、出身地や日常生活の一端を紹介したり、福村講師や伊藤部会長から経験談や若手に対する激励の言葉をいただいたり、あっという間の2時間であった。

第2回は、日立製作所大みか工場の見学会を1月末から2月にかけて実施する予定である。

技術委員会空気圧部会第552回特許分科会

日時 10月12日(金) 12:30～17:00

場所 西宮市立勤労会館 3階 第3会議室

出席者 井野幹事以下5名

事務局 吉田

議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、2件については引き続きウォッチングしていくこととした。1件については引き続き調査を行うこととした。1件については見解書が提出され、これをもって調査を終了することとした。1件については見解書の作成を依頼しており経過の報告があった。1件については新たな証拠が提出され、引き続き調査を行うこととした。

平成30年度9月末現在収支報告書と特許事務所支払明細の報告について承認を得た。

次回開催：11月9日(金) 機振会館6-61会議室

技術委員会 水圧仕様技術調査WG(平30第4回)

日時 10月24日(水) 15:00～17:00

場所 機械振興会館 B3-7号会議室

出席者 大林副主査以下4名

事務局 宮川、大橋

議事

1. 現状水圧機器仕様調査

過去2年間の総括報告書を再配布し、各担当部分の見直しと追記修正を行い、併せて可能な範囲で標準化という視点での記述を加えることとした。本作業結果は次回までに提出し、次回をもって終了する。

2. ISO 提案への取り組み

ISO 提案の第1弾としてのポンプ試験方法規格に関する進捗状況が事務局から報告された。

前回の当委員会にて検討を加えた和文規格案を基に、ADS 国際標準化委員会関係者で完成させたISO-WD 及びそのカバーシート (Form04) を持って、10/15～19 に開催された ISO/TC131 フランクフルト会議にてロビー活動を行った。接触した複数国から好感触を得たため、10月末に NP として正式に提案することとなった。

第2弾以降の ISO 案に関して、シリンダ、制御弁等々の和文規格原案の作成作業を、ポンプ同様に当 WG と国際標準化委員会の当該 WG とで進めていきたいとの提案がなされた。

次回開催：平成31年1～2月とし別途調整

~~~~~

## 広報・PR 関連事業

~~~~~

第95回編集委員会

日時 10月5日(金) 15:00～17:00

場所 伊豆高原ユートピア研修室

出席者 坂井委員長以下10名

事務局 藤原専務、大橋

議事

坂井委員長の開会の挨拶の後、宮主査の司会により議事に入った。

1. VOL. 32, NO. 3 (夏号)～NO. 4 (秋号) 報告

前回の編集委員会以後に発行された夏号、10月中旬発行予定の秋号についてページ数、印刷数、記事の傾向等を報告した。

2. VOL. 33 年間企画と記事提案状況

来年2019年の年間企画表にて、主な記事の傾向を説明した。編集委員からの提案に基づく夏号以降の記事候補を説明し、提案の少ない「身近な F.P.」「F.P.の挑戦」記事の提案を改めて依頼した。続いて編集委員それぞれから提案内容の説明を受けた。

3. 機関誌のあり方・配布先拡大について

宮 WG 主査から、2018年の実施内容、懸案事項等の報告を行った。

4. その他

この時期は展示会などのイベント等も多く、今回のように顧問委員が全員欠席となってしまうこともあるため、開催時期の変更や日程調整方法について検討することとした。

・第123回 WG 12月7日(金) 15時、機振会館 6-60

~~~~~

## 中小企業関連事業

~~~~~

平成30年度中小企業WG 海外研修事業

日時 10月1日(月)～4日(木)

場所 マレーシア・クアラルンプール近郊

参加者 高野 団長、星 副団長 以下7名

事務局 堀江

報告

平成30年度中小企業委員会WGの研修視察先として、以前よりWGメンバーから要望の強かった当会会員企業でもあるマレーシア日系企業を訪問した。

10月2日の午前中にジェイテクト・マレーシア工場にて油圧・電動パワーステアリングの製造工程を視察し、従業員教育に注力している状況を伺った。



ジェイテクト・マレーシア工場(JAMY)にて

同日午後はKYB・マレーシア工場にて4輪用・2輪用ショックアブソーバの製造工程を視察し、外部リークに繋がるコンタミ管理に注力している状況を伺った。



KYB・マレーシア工場(KMSB)にて

同社は当会の正会員会社であり、建機、産機用の油圧機器の他、切削工具、工作機械、ベアリング、ロボットなど多くの事業を展開している。今回は、富山事業所のものづくりセンターを見学して、不二越

の歴史と各事業製品について説明を伺った。

その後、JETRO クアラルンプール事務所を訪問してアセアン10カ国の概況、マレーシアの歴史、政治、経済について最新状況について伺った。

10月3日はクアラルンプール市内及び郊外の鋳製品工場等を視察し、夜の便にて全員無事に帰国した。

第3回中小企業委員会

日時 10月10日(水) 15:00 ~ 17:00

場所 機械振興会館 5S-1 会議室

出席者 十万委員長以下 14名

事務局 藤原、堀江、

議 事

① 開会挨拶 十万委員長

② 経産省からの施策近況と業界現況報告

経産省・渡部係長より平成31年度経済産業政策のポイント及び各種施策の概要について説明があり、その後出席各社からの現況報告が行われた。

各社 売上は5~8%増のところが多いが、材料費等の値上げと新人採用に苦労しているとのこと。

事務局からは油圧基礎講座(初級)及び油圧装置調整技能士受験対策講座、中小企業WG マレーシア研修視察、日本機械工業連合会主催の米中貿易戦争関連セミナーについて報告した。

③ 会長講演会

石川会長より「Parker Hannifin 社の歴史と Global 戦略」というテーマで米フォーチュン誌の全米上位500社にParker Hannifin 社が過去23年間残り続けている戦略についてお話をいただきました。内容は以下のとおりです



会長講演会

「今回は、およそ100年の歴史を持ち、グローバルに売上1兆5千億円、従業員5万7千人の規模に至るユニークな成り立ちを持つパーカーハニフィン社(Parker)の成長の過程などをお話いたします。Parkerの企業文化は、日本の大企業のイメージと異

なり、異なる文化・地域性を活かしながら全体を統治しております。それは、大規模工場による巨大オペレーションをしている企業体ではなく、むしろTAIYOのように企業規模にして約100億から200億円程度の事業体(Division)を全部で100を並列的に統治し、毎年のように企業買収を行いながら成長してきた企業です。日本国内ではあまり見られないタイプの大企業と思っています。そういう意味で、皆様のご参考になればと思っております。

Parkerは、全部で6つのオペレーショングループがあります。航空宇宙グループ、エンジニアリング材料グループ、フィルトレーショングループ、流体コネクタグループ、計装グループそしてTAIYOが属していますモーションシステムグループです。Parkerの特徴は、100のDivisionが平均150億円規模で並列的に並び、世界50カ国に336の工場を持っております。提供製品は80万種、営業利益率は15.7%(FY2018)です。これらをどう統治し全体として成長していくかがParkerのノウハウです。

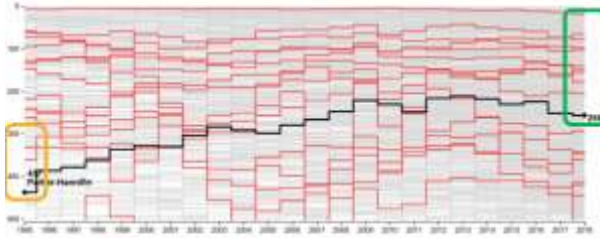
さて事業ですが、エアロスペース事業が歴史的にもParkerを代表する事業の一つといえるもので、大西洋の単独横断飛行に成功したチャールズ・リンドバーグの飛行機の油圧システムにParkerが使われたことはParkerの誇りの一つです。油圧は、世界有数の規模で、同じモーションシステムグループには空気圧や電動もあります。

101年前の創業から10年程度は困難な時期でしたが、その後90年かけて現在の規模になっています。2000年の売上は約6千億円でしたが、10年ぐらいかけて約2倍となっています。急成長とは言えないかもしれませんが、一般産業用機器を扱う会社としては堅調な成長を成し遂げたとと言えます。2010年頃からやや停滞期がありますが、昨年の世界好景気にも後押しされ新記録の売り上げとなりました。Parkerは、傘下に入れた会社の特徴を生かしながら、買収後もその地域・市場の中でどう成長してもらうのかということを考えている会社です。例えばTAIYOですが、Parkerの傘下に入って6年経ちます。この間、引き続きTAIYOブランドで商売を続けています。

Parkerが誇りに思っていることの一つに、1995年から2018年の間、アメリカの中で500の優良企業を選んでいるFortune500に、そこから外れたことなく順位も上がっていることです。

さて、Parker の 100 の Division をどう統治していったらよいのかを考えたのが、2000 年に社長兼 COO に就任したドン・ウォシュキヴッチです。彼は、100

Fortune 500 Update



- これは過去23年間、フォーチュン500に残っている15の「一般産業機械メーカー」です。
- Parkerはこの中でランキングの上昇が最高です。

ある Division を自分で一つ一つ回りながら、従業員が何を考えどういう事業をやっているのか、そしてどういふ文化的背景を持っているのかを自分が実際に行き回って聞いて回り、これら Division を統一感持って成長させていくためにはどういふことをやるべきかを考えました。その結果、生み出されたものが、Win Strategy : 成長戦略です。A4 サイズの表裏に書かれた非常にシンプルなもの。これを提示して「皆さんこういう方向に向かって仕事しましょう。」と語り、それに合わせた改善のためのツールを使い、各 Division に自発を促す形でリードしていくやりかたで、自ら改善を推進してそれぞれの Division を成長に向かわせました。その後、2014 年からトム・ウィリアムズが CEO となり、COO になったリー・バンクスと、2015 年に新 Win Strategy として更新しました。

Win Strategy を少し詳細に紹介しますと、Parker の中に数多くある Division をどう束ねて、どういふ方向にリードしていくかをグローバルに統率していく教科書のようなもので、こういうことを大事にしなければよということが順番に書かれています。熱意を持った社員、最高の顧客満足感、高い収益性を伴う成長、財務実績の 4 つの柱が我々の成功の上で重要であると語っております。ストーリー仕立てで左から読みます。そもそも会社では何から価値の創造が始まるのか。それは社員であるということがグローバルに語られております。英語では、Engaged People というのですが、日本語では主体性を持ったとか、熱意があるとか、しっかりと動機づけられた所謂やる気のある社員の意味ですが、第一番目にこれを持った集団を作り上げることがまずは重要であるということです。二番目の最高の顧客満足感に関しては、これは日本でも共通していると思いますが、

お客さんに「一緒に仕事ができて良かった、楽しかった。」という気持ちを持ってもらう仕事をしていくこと。こういう関係性をお客と作りなさいということです。三番目は、そういったサービスをすることで、ビジネスを成長させなければいけない。最後の財務実績は、ROS であつたりキャッシュフローであつたりしますが、これはあくまでも「一連のビジネスフローが健全に行われた結果として達成すべきものだ。」という流れになっております。所謂短期的にキャッシュと営業利益だけ見てものを売るのはやや違った方針で進めているのが特徴です。

一番目の Engaged People で Parker が大事にしているのは、環境安全衛生です。日本でも、メーカーは安全第一です。その次は、起業家精神です。Parker の中は、一つ一つの Division が P/L に責任を持っています。自分の事業は自ら改善し、成功させることの重要性が語られています。起業家精神は Parker にとって非常に重要なのです。収益性を伴う成長、これは成長のやり方はいろいろあります。単に自分の製品を売るだけではなくて、サービスを売ること。もっと、傘下に他の企業を加えていくことも重要な活動です。

最後に、財務指標ですが、グローバルコンペティ

ションの中で上位 1/4 に入ることを目標としています。そろそろ時間ですので終わりいたします。少し手前味噌のプレゼンで恐縮でしたが、皆様の企業運営の中で何か参考になればと思ってお話させていただきました。ありがとうございました。」

(紙面の関係上 Parker の歴史部分は一部割愛させていただきました。)

次回開催：2月13日(水)

~~~~~

## 会員ニュース

~~~~~

☆ 正会員の社名変更のお知らせ

日本バルカー工業(株)殿から、創業100周年を見据え真のグローバルカンパニーとしての新しい創造と健全で持続的な成長の実現をさせるべく、10月1日付にて、株式会社バルカーに社名変更の旨連絡がありましたので、ご連絡します。

~~~~~

## 訃報

~~~~~

工業会前理事でありました住友精密工業株式会社前社長である三木伸一氏は、平成30年10月2日(火)ご逝去されました。享年67歳です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

☆12月21日(金)第29回政策委員会

(時間) 16:00~17:00

(場所) 当会会議室

*平成31年

☆1月16日(木)第85回理事会

(時間) 13:30~14:50

(場所) 東京プリンスホテル「高砂」

年始会

(時間) 15:00~16:30

(場所) 東京プリンスホテル

「マグノリアホール」

☆3月29日(金)第30回政策委員会

(時間) 16:00~17:00

(場所) 当会会議室

☆4月19日(金)第86回理事会

(時間) 15:30~16:50

(場所) ザ・プリンスさくらタワー高輪

2F「コンファレンスN1-N4」

理事会懇親会

同上 17:00~18:30

2F「コンファレンスN5-N8」

☆5月16日(木)第20回定時総会

(時間) 15:30~16:50

(場所) 東京プリンスホテル

「サンフラワーホール」

総会後の懇親会

(時間) 17:00~18:30

(場所) 東京プリンスホテル芝公園

「マグノリアホール」

☆5月17日(金)第58回JFPA懇親ゴルフ会

(場所) 程ヶ谷カントリー倶楽部

~~~~~

10月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/ISO事業)

ISO/TC131 フランクフルト国際会議

開催日 10月15日(月)~10月19日(金)

出席者

SC7 議長 高牟礼辰雄(JFPA)

委員 中尾雅司(NOK)

〃 佐藤祐樹(NOK)

〃 吉田博文(キーパー)

〃 岩崎宏文(イハラサイエンス)

〃 緒方征嗣(日東工器)

〃 横岡慎吾(ブリヂストン)

〃 吉田泰裕(CKD)

アドバイザー 大野淳一(JFPA)

ISO/TC131/SC6 新郷国際会議

開催日 10月23日(火)~10月25日(木)

出席者

委員 難波竹己(日本ポール)

(標準化事業/規格事業)

JIS 原案作成本委員会

開催日 10月5日(金)

出席者

委員長 北川能(東京工業大学)

委員 香川利春 (空気圧工学研究所)
〃 渡邊康博 (日本規格協会)
〃 大槻文芳 (日本工作機械工業会)
〃 菊地治彦 (東芝機械)
〃 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)
〃 塩田浩司 (コガネイ)

油圧システム分科会

開催日 10月2日(火)
出席者
主査 町田哲治 (東京計器)
委員 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)
〃 久保光生 (不二越)
〃 城ヶ崎正生 (豊興工業)
〃 柏野智 (油研工業)
〃 渋谷文昭 (東京計器)

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 10月4日(木)
出席者
主査 加藤弘毅 (KYB)
委員 庄司忠史 (ダイキン工業)
〃 辻井喜勝 (タカコ)
〃 八文字俊郎 (ボッシュ・レックスロス)
〃 宮田孝弘 (小松製作所)
〃 吉村勇 (川崎重工業)
〃 高橋正和 (日立建機)
〃 寺澤達士 (油研工業)

空気圧システム分科会

開催日 10月9日(火)
出席者
主査 増尾秀三 (CKD)
委員 張本護平 (SMC)
〃 阪本晴康 (TAIYO)
〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)
〃 門間崇宏 (コガネイ)
〃 神戸孝典 (甲南電機)

空気圧バルブ分科会

開催日 10月25日(木)
出席者
主査 大島雅之 (SMC)
委員 渡邊陽 (コガネイ)
〃 八手又秀浩 (日本ピスコ)

(技術調査事業)

技術委員会油圧部会若手技術者懇談会 (第1回)

開催日 10月12日(金)
出席者
部会長 伊藤和巳 (KYB)
講師 福村 徹
(元コマツ KOMTRAX サポートセンター長、
テクノライフコム代表)

参加者 成田慎治 (川崎重工業)
〃 小倉敬紀 (KYB)
〃 金星 (ダイキン工業)
〃 山崎啓二 (TAIYO)
〃 三浦友裕 (東京計器)
〃 岡村 潤 (日立建機)
〃 宍倉知香良 (日立建機)
〃 佃 拓実 (廣瀬バルブ工業)
〃 鈴木教之 (ボッシュ・レックスロス)
〃 武田悠太 (不二越)

技術委員会空気圧部会

第552回特許分科会
開催日 10月12日(金)
出席者
幹事 井野雅康 (SMC)
委員 河野喜之 (甲南電機)
〃 今野英俊 (コガネイ)
〃 細田一也 (CKD)

技術委員会 水圧仕様技術調査 WG

日時 10月24日(水)
出席者
副査 大林義博 (KYB)
委員 井口 務 (廣瀬バルブ工業)
〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)
〃 細井耕平 (堀内機械)

(広報・PR 関連事業)

第95回編集委員会

開催日 10月5日(金)
出席者
委員長 坂井 静 (KYB)
副委員長 水野純一 (CKD)
WG主査 宮 能治 (KYB)
委員 神戸孝典 (甲南電機)
〃 小辻一雄 (コガネイ)
〃 豊田敏久 (川崎重工業)
〃 永井茂和 (SMC)
〃 東川智信 (TAIYO)

- 〃 宮坂 篤 (油研工業)
- 〃 諸橋 博 (東京計器)

(中小企業関連事業)

平成 30 年度中小企業 WG 海外研修事業

日時 10 月 1 日 (月) ~ 4 日 (木)

参加者

- 団 長 高野和治 (光陽精機)
- 副団長 星 蔵貴 (神威産業)
- 団 員 舘 満正 (神威産業)
- 〃 板垣達郎 (光陽精機)
- 〃 高橋龍太郎 (大生工業)
- 〃 澤田啓支朗 (タイオンインターナショナル)
- 〃 杉崎秀之 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 尾崎佑樹 (堀内機械)
- 〃 浅香紀之 (マツイ)

- ・標準化 (委) 空気圧システム分科会
- 11 日 (木)
- ・西日本支部主催工場見学会
- 環境施設組合の舞洲工場
- ・第 11 回西日本支部総会及び第 84 回理事会
- 12 日 (金)
- ・西日本支部主催懇親ゴルフ会
- 12 日 (金)
- ・技術 (委) 油圧部会若手技術者懇談会
- ・技術 (委) 空気圧部会第 552 回特許分科会
- 15 日 (月) ~ 19 日 (金)
- ・ISO (委) フランクフルト国際会議
- 24 日 (水)
- ・技術 (委) 水圧仕様技術調査 WG
- 25 日 (木)
- ・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会

平成 30 第 3 回中小企業委員会

開催日 10 月 10 水)

出席者

- 委員長 十万幹雄
- 副委員長 杉村 登夢 (日本アキュムレータ)
- 委 員 松田庄三郎 (光陽精機)
- 〃 澤田啓支朗 (タイオンインターナショナル)
- 〃 大木則夫 代理 (大生工業)
- 〃 野村伯英 (南武)
- 〃 小野慎一 (廣瀬バルブ工業)
- 〃 高橋征爾 (富士エンジニアリング)
- 〃 松井源太郎 (マツイ)
- 〃 三尾行康 (三尾製作所)
- 〃 渡部圭次 (経済産業省)

個別参加 東川智信 (TAIYO)

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<10 月>

- 2 日 (火)
- ・標準化 (委) 油圧システム分科会
- 4 日 (木)
- ・標準化 (委) ポンプ・モータ分科会
- 5 日 (金)
- ・標準化 (委) JIS 原案作成委員会
- 5 日 (金) ~ 6 日 (土)
- ・編集 (委) 第 95 回編集委員会
- 9 日 (火)